



キーワードを入力



トップ

速報

ライブ

個人

オリジナル

みんなの意見

ランキング

主要

国内

国際

経済

エンタメ

スポーツ

IT

科学

ライフ

地域

## 殺処分ゼロへ 野良猫の不妊手術普及願い 動物病院の夫妻奮闘

6/12(土) 16:18 配信 29



来院した猫の状態を見る大門みゆきさん（右）と正明さん＝北海道江別市で2021年4月5日午後2時40分、高橋由衣撮影

北海道内で唯一、飼い主がいない猫に去勢・不妊手術を施す専門クリニックが、江別市にある。代表の夫と獣医師の妻が目指すのは「猫の殺処分ゼロ」と「全ての命が大切にされる社会」。ただ、その実現には、保護猫の手術をするマンパワーの充実が欠かせない。【高橋由衣】

[【写真特集】「にゃんとかせんば」動画出演者](#)

3階建て住宅の1階。動物病院「Mobile VET Office（モバイル・ベット・オフィス）」に、猫が入ったケージが次々に運び込まれてくる。4月上旬のこの日も、札幌や岩見沢、伊達など各地から、野良猫や飼い主を探し中の猫6匹が届けられた。

獣医師である大門みゆきさん（42）と夫の正明さん（37）がクリニックを開いたのは2017年。みゆきさんは大学で獣医学を学んでいた頃から「TNR」と呼ばれる猫の殺処分をなくす活動に関心を持ち、卒業後は海外でも働いて動物愛護を学んだ。結婚を機に、正明さんの郷里の江別に転居。専門病院を持ちたいという妻の夢に会社員をしていた正明さんも賛同し、二人三脚が始まった。

全身麻酔で去勢や不妊の手術を受けた猫は1日で退院でき、手術済みの印として耳先を花びらの形に小さくカットされる。関係者はこれを「さくら耳」と呼ぶ。

12年の動物愛護法改正で飼い主に「終生飼育」の努力義務が課されたのを機に、多くの自治体が犬猫の「殺処分ゼロ」を掲げるようになった。江別市に隣接する札幌市でも、16年度以降は回復の見込みがない重傷の猫以外の殺処分はなくなり、民間団体も含め、譲渡や住民が共同で世話する「地域猫」の活動が盛んになった。それに不可欠なのが、繁殖の抑止だ。

みゆきさんによると、クリニックに多く来る相談は「家に上げていた野良猫が子どもを産んでしまい、排せつ物の臭いなどで周囲に迷惑をかけている」というケース。野良猫に

餌をあげていたら、数が5倍以上に増えたとの相談もあったという。夫妻は依頼があれば離島や道東まで足を運び、手術は年間1600件を超える。料金は一般の動物病院の2～3割程度と格安だ。

動物愛護団体から、多頭飼育の崩壊などで保護された猫が持ち込まれることもある。NPO法人「ニャン友ネットワーク北海道」の和崎薫さん（54）は「早く手術しないと保護猫は増えるばかり。当日のお願いでも何十匹も受け入れてくれる2人がいるおかげで、譲渡の対象も増え、活動の希望になっている」と感謝する。

だがそれは「マンパワーが足りない」（正明さん）ことの裏返しでもある。TNR活動の旗を振る公益財団法人「どうぶつ基金」（兵庫県）によると、利益の薄い野良猫の不妊手術を引き受ける施設はまだ少なく、提携病院は全国に約160カ所、道内では大門夫妻のクリニックを含め5カ所しかない。地域差が大きいのが実情だ。

みゆきさんは「野良猫には餌をやらないのではなく、手術をしてあげれば、増えて困ることはない。命を大切にするため、去勢・不妊を当たり前のことにしたい」とTNR活動の広がりを目指す。どうぶつ基金の佐上邦久理事長（61）は「TNRに協力する獣医師を行政主導で育成する三重県のような先進的な地域もある。もともと獣医師が多くない北海道でも、保健所などが人材確保に積極的に取り組むことが必要だ」と話している。

#### ◇猫のTNR

Trap（捕獲する）▽Neuter（不妊手術をする）▽Return（元の場所に戻す）——の略。飼い主のいない猫の繁殖を抑えるとともに、発情期の鳴き声やマーキングの抑制も期待できる。環境省は地域猫活動のポイントの一つとして紹介し、補助制度を設けている自治体や民間団体もある。

#### 【関連記事】

[さまざまな事情を抱えた保護猫 子どもたちに知ってほしいこと](#)

[動物たちの“今”SNS発信 「いいね」続々](#)

[「マヌルネコ」動画が話題 150万回以上再生](#)

[島忠で保護犬猫を譲渡 飼い主見つけやすく](#)

[テナガザル謎の出産 おりに1頭だけ飼育なのに](#)